

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備の必要性	2. 整備手法の考え方
東北横断道 釜石秋田線	岩手県	遠野～宮守	<p>本州一広大な県土を有する本県にとって、東北横断自動車道釜石秋田線は、内陸部と沿岸部を結ぶ広域的な交流・連携を支える基幹道路であり、物流の効率化による産業の振興、救急医療体制の確立、緊急時の災害対応など本県にとって欠くことの出来ない重要な社会基盤となっている。</p> <p>このなかにおいて、遠野～宮守間は、宮守～東和間と一体となり、内陸部にもたらされた高速道路の波及効果を、北上山地の中心都市である遠野市まで波及させるもので、沿線地域の産業・経済の活性化や観光振興に果たす役割は極めて大きいものがあり、本路線の早期整備は沿線住民はもちろんのこと県民の悲願となっており、是非とも早期整備が必要である。</p>	整備の必要性並びに本区間の総合評価結果などを総合的に判断した結果、「新直轄方式」による整備を望む。
		宮守～東和	<p>本州一広大な県土を有する本県にとって、東北横断自動車道釜石秋田線は、内陸部と沿岸部を結ぶ広域的な交流・連携を支える基幹道路であり、物流の効率化による産業の振興、救急医療体制の確立、緊急時の災害対応など本県にとって欠くことの出来ない重要な社会基盤となっている。</p> <p>このなかにおいて、宮守～東和間は、遠野～宮守間と一体となり、内陸部にもたらされた高速道路の波及効果を、北上山地の中心都市である遠野市まで波及させるもので、沿線地域の産業・経済の活性化や観光振興に果たす役割は極めて大きいものがあり、本路線の早期整備は沿線住民はもちろんのこと県民の悲願となっており、是非とも早期整備が必要である。</p>	整備の必要性並びに本区間の総合評価結果などを総合的に判断した結果、「新直轄方式」による整備を望む。